

松波総合病院 北館付近の工事について

昨年11月下旬から行っていたクリニック改装工事が、今年の3月で竣工しました。工事期間中はご不便おかけしたうえ、ご協力いただきありがとうございます。一部封鎖されていた正面玄関の階段、スロープは使用できる状態になりました。またクリニック内の工事箇所の囲いにより通路が狭くなっていましたが、囲いが撤去され元の状態に戻りました。

続いて松波総合病院北館正面玄関付近にて工事を開始いたしました。工事期間は今年5月30日(月)までを予定しております。この工事により障がい者専用駐車場を移動、道路を一部封鎖し、迂回が必要となる場合がございます。右記のマップに詳細がございますのでご確認ください。

当院をご利用される皆さまには、度重なる工事でご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

北館正面玄関付近 工事情報

場 所

松波総合病院北館 正面玄関付近
(正面玄関出て東側)

期 間

2022年1月17日(月)～
2022年5月30日(月)の予定



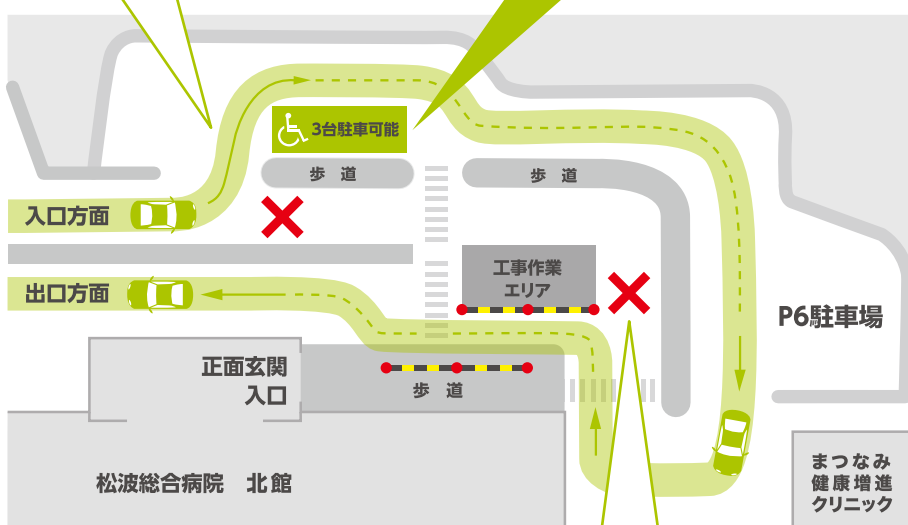
通行止め

P6駐車場から迂回をお願いいたします。



障がい者専用駐車場が移動

正面玄関前の駐車場からP6駐車場に移動しました。



通行止め

左折は可能です。道幅が狭くなっております。車は三角コーンの内側をご通行ください。

次のページは、「呼吸器内科 気管支鏡」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、
夜間施錠について



発熱症状で
受診される方へ

来院前に
ご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日 時

毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です)
17時30分～19時00分

場 所

笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場

連絡先

058-388-0111(内線 51668)
松波総合病院 柔道部監督 松井

岐阜バス「笠松川島線(松波総合病院停車)」新設のお知らせ

4月1日(金)より、当院の北館正面玄関に岐阜バス「笠松川島線」のバス停(松波総合病院)を新設します。バスの停車区間は「松波総合病院～川島松倉」で毎日5往復運行します。「笠松駅」、「河川環境楽園」など全20箇所停車します。

詳細は岐阜バスホームページまたは右記のQRコードからご確認の上、バスをご利用ください。

岐阜バス
ホームページ



5月15日(日)に、第12回「日曜乳がん検診」を開催いたします。

多忙な平日をお過ごしの方々に、日曜日に受けられる乳がん検診を実施いたします。人数に限りがございますので、是非お早めにお申し込みください。

検査内容

①コース / 9,000円(税込)

専門医による触診・マンモグラフィー・乳房エコー

②コース / 4,500円(税込)

専門医による触診・乳房エコー

※マンモグラフィー・乳房エコーは女性技師が行います。

日 時

2022年5月15日(日) 午前8時30分～午後12時00分

申 込

事前予約が必要です。(先着14名)
検診の詳細、申込書のダウンロードは右記のQRコードから



令和3年度研修医修了式を行いました。

3月18日(金)に、令和3年度研修医修了式を執り行いました。

2020年4月より2年間、卒後臨床初期研修として当院で日々研鑽に励み、このたび2022年3月をもって、初期研修を無事修了することができました。

将来を支える人材としてさらなる飛躍・ご活躍を期待しております。



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



タイトルのココを
かざしてください

Monthly Magazine Matsunami

ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会

松波総合病院

〒501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



呼吸器内科の気管支鏡を使用した検査・治療についてのご紹介です。

当科では、「軟性気管支鏡」と「硬性気管支鏡」を使い分け、呼吸器疾患の治療を行います。

気管支鏡とは

空気を取り入れる管状の器官である「気管」や、気管から肺につながる「気管支」の中を観察することができる器械です。肺または気管・気管支など呼吸器の病気を正確に診断するために、口または鼻からのどを通して気管支鏡を挿入します。

気管支鏡を用いることで、さまざまな検査や治療を行うことができます。

□ **気管・気管支の観察**：気管・気管支内の状態を観察する

□ **気管支鏡下治療**：気管・気管支の治療を行う

□ **気管支鏡検査**：組織や細胞などの検体を採取して、病気を診断する

など

松波総合病院
呼吸器内科



気管支鏡の種類と特徴

気管支鏡には、大きく2種類あります。当院では、一般的な軟性気管支鏡のほかに硬性気管支鏡を使用した治療も行っています。

軟性気管支鏡

ブロンコスコープと呼ばれ、日本国内で一般的に使用される気管支鏡です。局所麻酔を行い、主に診断などの検査目的で使用します。

直径約3～6mmの細くて柔らかい管状で、気管支用のものは、胃カメラなどの消化管用のものより細く作られています。挿入後は、手元の操作で先端だけをより細かく曲げることができ、気管の内部を詳細に観察することができます。

軟性気管支鏡▶

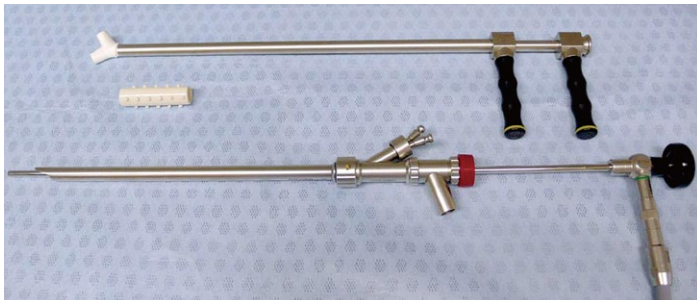


硬性気管支鏡

軟性気管支鏡の管状のものと異なり、硬性気管支鏡は金属製の円筒形をしています。その筒(外套管)の中にテレスコープを通して、気管支内部を観察します。内部空間を通して換気と呼吸管理をしながら種々の処置が可能です。硬性気管支鏡は全身麻酔を必要とします。

主に治療に用いる気管支鏡です。

硬性気管支鏡▶



当科での気管支鏡を用いた検査・治療

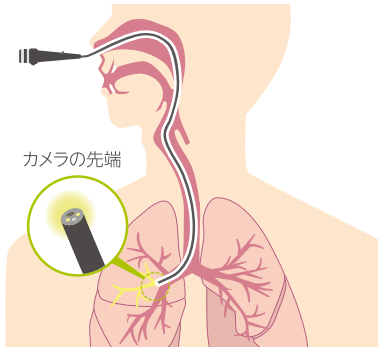
当院は、日本呼吸器学会認定施設として認定を受けており、気管支鏡による検査・治療を積極的に実施しております。

気管支鏡検査

気管支鏡検査が行われる場面は、以下のようなものが挙げられます。

●肺がんや間質性肺炎、感染症などの病気を疑う場合 ●痰に血が混じる、痰が詰まって息が出来ない場合 ●異物を誤嚥(ごえん)した場合 など

当科では、毎週火曜日午前に気管支鏡検査を行っています。気管支鏡検査により、肺がん、間質性肺炎などの精密検査を行い、診断・治療に役立てています。また、可能な限り外来での検査を心がけています。



▲気管支鏡検査のイメージ図

硬性気管支鏡を用いた治療

近年、気道狭窄(きどうきょうさく)の治療において、硬性気管支鏡の安全性・重要性が見直され、注目されています。硬性気管支鏡を用いた治療を実施している県内施設はわずかで、当院は数少ない実施医療機関の一つです。

また、当科に所属する坂 英雄^{さか ひでお}医師は、肺がんの化学療法と、気管支鏡の検査・治療を専門とする医師です。硬性気管支鏡による治療においても、年間約100件を超える実績があります。当院でも引き続き、硬性気管支鏡による治療を実施しております。

硬性気管支鏡による治療は、主に進行性の肺がんが対象になります。その他では、食道がんや甲状腺がんの治療も対象です。

肺がん治療では、がん細胞が気管や気管支の方に出てきて気道を狭くさせる「狭窄」を防ぐ治療を行います。がん細胞の増殖によって、気管や気管支が狭窄し、窒息を防ぐために、「ステント」と呼ばれる筒状の医療器具を置く「ステント留置術」などがあります。

硬性気管支鏡により、大きな組織採取や腫瘍からの出血を圧迫止血することも可能で、狭窄部位を広げた形で気道を確保し、ステントの留置がしやすくなります。

また、治療は、硬性気管支鏡と軟性気管支鏡を併用して行います。

担当医師プロフィール



呼吸器内科部長

坂 英雄 (さか ひでお)

専門分野

- ▶ 肺がんの化学療法
- ▶ 気管支鏡による診断、治療
- ▶ 呼吸器インターベンション (気道のステント留置術、塞栓術など)

資格

- ・日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医
- ・日本がん治療認定医機構:がん治療認定医
- ・日本呼吸器学会:呼吸器専門医、指導医
- ・日本呼吸器内視鏡学会:気管支鏡専門医、気管支鏡指導医
- ・日本臨床腫瘍学会:がん薬物療法専門医、指導医

所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本呼吸器学会 国際委員会委員
- ・日本呼吸器内視鏡学会 国際委員、2016年学術集会会長、名誉会員
- ・日本癌学会
- ・American Society of Clinical Oncology
- ・American Thoracic Society
- ・American College of Chest Physicians, Fellow
- ・Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology
- ・Asian Pacific Society of Respiriology
- ・European Respiratory Society
- ・International Association for the Study of Lung Cancer
- ・World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology, Vice-chair
- ・日本臨床腫瘍学会
- ・日本肺癌学会 特別会員
- ・日本癌治療学会
- ・日本メディカルAI学会

略歴

- ・1980年 名古屋大学医学部卒業
- ・1980年 愛知県がんセンター病院 第二内科研修医
- ・1982年 名古屋第一赤十字病院 外科医員
- ・1984年 名古屋第一赤十字病院 内科医員
- ・1988年 名古屋大学 第一内科医員
- ・1998年 国立名古屋病院 呼吸器科医長、アレルギー科医長、臨床研究部室長
- ・1998年 名古屋大学医学部 非常勤講師
- ・2004年 国立病院機構名古屋医療センター 呼吸器科部長、アレルギー科医長、臨床研究センター治験管理室長
- ・2007年 国立病院機構名古屋医療センター 外来化学療法室長(兼任)
- ・2009年 国立病院機構名古屋医療センター がん総合診療部長
- ・2014年 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究事業部副部長(兼任)
- ・2020年 松波総合病院 呼吸器内科部長

社会活動

- ・NPO-世界気管支学会 理事長
- ・NPO-西日本がん研究機構(WJOG)理事
- ・NPO-中日本呼吸器臨床研究機構(CJLSG)事務局長
- ・内視鏡医学研究振興財団 理事
- ・肺がん患者会 ワンステップしゃちほこ 顧問